

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回 矢島地域協議会
開 催 日 時	平成18年9月15日(金) 午後6時00分
開 催 場 所	日新館ホール
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	佐藤久美、佐藤寿美子、佐藤政一、三浦良明、三浦秀人、佐藤嘉孝、 小番けい子、近藤正満 8名欠席
会議次第	
1.開 会	
2.会長あいさつ	
3.区長あいさつ	
4.協 議	
分科会(3分科会にて合併後の地域の状況について意見交換)	
全体会(分科会で協議されたことを発表)	
5.その他	
6.閉 会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

出席者名簿
(28名)

(委員 22名)	打矢正敏	(事務 3名)
会長 鈴木清	八坂美智子	振興課 佐藤勝一
副会長 武内詔子	佐藤孝義	振興課 滝野由紀夫
秋山哲朗	沼倉睦子	振興課 東海林ひろ子
茂木好文	東海林晃	
土田龍太郎	東海林久美子	
赤川祐一		
佐藤永吉		
小番功		
小沼文夫		
相庭直一	(区長 1名)	
佐藤伸一	自治区長 佐藤徳弥	
三浦省	(総合支所 2名)	
土田典子	支所長 植村清一	
相庭幸子	振興課長 土田隆男	
佐藤功		
佐藤健美		

平成 18 年度 第 2 回地域協議会

・ 会長あいさつ

・ 区長あいさつ

協議

合併後の地域の状況等について 3 分科会にわかれて意見交換を行い、テーマを絞って協議を進め、地域協議会からの提言を行いたい。

(分科会)

・ 3 分科会にわかれて協議

(全体会)

・ 協議した内容を各班より発表

第 1 班 (発表者 A 委員)

合併後の状況について考えていることを出してもらいたい。

- ・ 自動販売機の空き缶回収ボックスの件ですが、矢島町は、空き缶を洗わないとゴミに出せなくなったので回収ボックスを置かなくなった。その結果空き缶等が町に氾濫するようになった。旧本荘市は、空き瓶空き缶を洗わなくてもいい。合併したのだから、同じ条件で出せるようにしてもらいたい。
- ・ もえないゴミを出す際、ガラス等は危ないので紙に包んで出すが、燃えるゴミと混ぜないで出さなければいけないということで矛盾している。もうすこし実態にあうようしっかりやってもらいたい。
- ・ 合併して 1 年半メリットデメリットがあるが、デメリットとして、さまざまな行事の取り止めがある。
- ・ 負担は少なくサービスは厚くといわれているが、現在、負担は多く、サービスは少なくなっているような気がする。
- ・ 支所の責任の所在について、本庁支所間の連絡の不備、判断ができるまで時間がかかるなど合併前と比べて悪くなっている。鳥海で起きた大川端の通行止め等も合併前であればもっとはやく開通させたのではないか。
- ・ 役所で予算がない。芝刈り、草刈りを「予算がない」といってやらない。民間であれば、予算がなければ今年はやめるということもあるが、予算がなくてもやりたいことは通すというところがある。

- ・合併として 1 年半、一体感を作るということはできているが、なんでもかんでも中央で集めてやる。

地域の人たちの移動や動きなどを考えていないような気がする。一体感を作るため強引に物事を進めている。由利本荘市になったのだから誰もが同じ市民なので、同じ権利があるが、まだ地域により気持ちの違いがあるのでそれを無視して性急に進めている感がある。

- ・中高連携校建設後の跡地の計画を示してもらいたい。
- ・道路のでこぼこを早く直してもらいたい。冬期間の低いところに雪がたまる。行政に言ってもなかなか直らない。

第 2 班（発表者 B 委員）

合併後の変わったことなどを話しあってもらいたい

・『支所だより』の充実

広報誌は、月 2 回発行され市全地域の情報が得ることができる。反面、地元の記事が少なくこれまでの広報やしまのような情報が得られない。もっと地域に密着した情報を載せた魅力のある内容と編集をして、地域住民に親しまれる『支所だより』にすべきである。

矢島の火を消さないでほしい。（広報を通じ）地域に元気が出るようにしてほしい。

また、総合案内所がオープンするまでの経緯などについて掲載するなどし、総合案内所が、地域住民に親しまれるようにする努力が必要だ。

・総合案内所と案内板、来客者への行政の体制について

総合案内所にある案内看板の情報が不十分である。

総合案内所、佐藤政忠家、八森苑・道益苑のそれぞれの矢島総合支所における担当が違うために、結果として、来訪者の歓迎（案内）がちぐはぐになっている。自由に見学し休憩ができ、来訪者に満足してもらえるような体制が必要だ。

また、パンフレットの内容についても検討し、散策順路の地図も案内所に備え付けるなどが必要だ。

・「教育の町」次の世代に引継ぐ努力

寺子屋の師匠の 13 の碑が現存している。矢島が「教育の町」と言われる所以でもある。

矢島の歴史、市指定樹木、指定文化財などのほか、核家族化の潮流のなかで「先祖」のことなど次世代に引継ぐ努力をしなければならない。

・合併後の除雪

矢島の除雪はきれいに行き届いている。やはり、豪雪地域における除雪経費は地域性を十分考慮した予算でありたい。

駅前通りと広場の排雪が少なくなった。春になって広場に残雪があると汚い。矢島の玄関口でもあるしきれいにしてほしい。

・庁舎の空きスペースの利用

庁舎の空きスペースを、矢島の先人を顕彰する資料の展示施設として利用したらどうか。

中高連携校完成後の高校施設の再利用として、八朔祭りの山車などの展示を考えたらどうか。

第3班（発表者　C委員）

合併して1年半たったが矢島がどのように変わったか、思ったことを話してもらいたい。

- ・ 保育料が安くなって住みやすくなった・
- ・ 役場に連絡しても一部本庁の方に回されて、なかなか返事が返ってこない。
- ・ 住民の声が届きにくくなってきて、窓口業務が一拍子になってきているような気がする。
- ・ 各種行事がすべてボランティアに任されているような気がする。
- ・ 環境の問題だが、施設の周りが草だらけになってきていて以前より整備が遅れてきているのではないか。
- ・ 道路を含めて、除草など環境整備にもう少し力を入れてもらいたい。道路愛護についても丁内に人が少なくなり維持するのが大変になってきている。一方ではシルバー人材センターへ依頼しているということで矛盾も感じられる。
- ・ クリーンアップ作戦も参加人員が少なくなってきている。スポ少の大会があるなどそういう理由で出てこない人が多くなってきている。
- ・ 八朔まつりの際、大量のゴミ袋が置き去りとなっており、定期的に処理するような方法をとるべきではないか。
- ・ 合併して、中心部が移ったこともあり、支所に覇気がなくなった。ただ上から使われているような感じが気になった。また、駐在的になってきている。活気がないのは、支所だけでなく地域全体が活気がなくなってきている。
- ・ 道路の通行止め等が起こった際、合併後、復旧が遅くなったような気がする。
- ・ 道路の補修等がこれまではすぐやってもらえたものが遅くなった。一時しのぎの仮補修

となっているところが見受けられる。

- ・スキー場の整備について、予算がついて整備されることになったことは評価したい。しかし旧整備委員会への説明がない。意見の集約がなされていないのではないかと。また、祓川や花立の道路等が荒れてきているので整備を充実してもらいたい。
- ・区長について、権限もなく区長を置かなくてもよいという意見もあるが、1年半たち、支所長も異動してきている。そのような中で区長もいなくなれば誰に声を届けばよいか判らなくなる。地域のことを真剣に考えてもらえる方を今後も置いていただきたい。
- ・中高連携校の跡地計画が示されていない。このままでは、家中地区がすたれてしまうのではないかと。また、団塊の世代の10数パーセントの人はふるさとに帰りたいと思っている。この人たちに情報発信していけないか。跡地利用について、地域協議会で利用計画を話し合いできないか。例えば、跡地を団塊の世代を受け入れる分譲地にして活用できないか。今あるものをどう活用していくか。支所の職員に元気を出してもらわなければ、住んでいる住民も元気がなくなる。
- ・施設の利用として、花立のパークゴルフ場の存在もわからない住民がいる。谷地沢へのバスもなくなっているので、週に何回かバスを出して、利用できる環境を整えられないか。
- ・みどころ案内人についても、年々観光客が増えてきているし、皇太子さまがきたことで今後もさらに観光客が増加することが期待されるので充実を図ってもらいたい。
- ・観光の施設として鳥海山をこれまで大事にしてきた。今一度見直して、手入れをしながら整備をしてもらいたい。
- ・新しいものをつくるのではなく、いままであるものを大事にしながら手入れし使っていければよいのではないかと。
- ・農業関係も厳しくなり、集落営農が進んでくると職がだんだんなくなることから、働く場所を見つけてもらいたい。
- ・日新館については、結婚式で利用するためホールの照明が暗くなっているが会議には向いていないことから会議で利用できるよう照明の改修ができないか。
- ・矢島町時代にはホームページがよく整備されていたが、このごろあまり更新されていないので新しい情報を提供してもらいたい。支所単位で情報の更新ができないのか。

鈴木会長

今回協議されたことから第3回の協議会ではテーマを絞り、再度協議してもらいたい。

(終了)